

小泉首相の靖国神社参拝に抗議！ 奈良市・大和郡山市・橿原市で、

憲法九条守れ！共同センター終戦61周年8・15 宣伝行動に 奈良県平和委員会積極的参加

奈良県平和委員会は、終戦8・15、開戦12・8の宣伝行動について、「憲法九条守れ！奈良県共同センター」に提起し、取組んできました。今年も、各地に呼びかけ、最終的に、奈良市、大和郡山市、橿原市の3ヶ所で、取組みました。

奈良市では、近鉄奈良駅前で、「小泉首相の靖国神社参拝に抗議」の横断幕を背景に、共同センター森本駿一事務局長（奈良市平和委員会事務局長）の司会で、参拝反対の要請、抗議を小泉首相に行なったことなど報告。 母親大会連絡会山田会長の訴えの後、各団体からの訴えが行なわれ、奈良県平和委員会からも、河戸憲次郎事務局長が核兵器廃絶の署名宣伝行動、奈良市はじめ県内4ヶ所での平和のための戦争展に1500名以上が参加、自衛隊基地まつり飛行中止申入れなど報告・決意訴えました。 母親連絡会の「赤紙」と共同センター作成のビラ（表・小泉首相の靖国参拝に反対、裏・国民投票法案の危険なカラクリ）をセツトして30名が500セツト配布しました。

50代の女性は、「奈良公園の花灯会を見に来ました。赤紙のビラをもらったので、戦争はいけないことを子供たちにも伝えたい」と語りました。 大和郡山市でも、母親大会連絡会や革新懇を中心に、平和委員会、年金者組合など、17名がビラ配りを行い、「侵略戦争を美化する靖国神社への首相参拝は、人々の怒りは大きく、日本外交は決定的な孤立の道を進みます。」など訴えました。

橿原市平和委員会は、近鉄八木駅前で、8名が参加し、6名がマイクで訴えました。署名も憲法九条守れ！核兵器すみやかの署名62筆集めました。ベニヤ板6枚に、平和新聞から写真など拡大コピーポスターをつくり、通行人から暑い中よく頑張っているとの激励も受けました。

生駒市でも20日に夏の集い（下記参照）を実施。奈良市では、核兵器なくせ、憲法九条守れのとどいを9日に実施。（文責 森本駿一）。

お知らせ
県平和学校十月二十九日（日）10時から16時。住吉陽子日本平和代表理事、埼玉県革新懇代表世話人、非核の政府を求める会常任世話人、新婦人元副会長（講演 憲法守れ！輝け女性たち（仮題））。

夏
の
集
い
…
語
り
継
ぐ
戦
争
と
平
和
』
生駒市平和事務局長 真鍋洋子
5回目の戦争を語り合う会を8月20日行い、参加者は47名でした。生駒市広報に載せ、ビラで市民に知らせ、初めて参加された方が10数名いました。

語り部は、10人兄弟と両親で、満州から引き揚げの時のことなどを、ペープサートを使ってお話しされた綾部多美さんと『軍国青年』だった青年時代のことを話された谷山清さんの二人。
さらに昨年に引き続き、原爆詩の朗読を板倉・杉本両氏に。最後に、参加者一人一人に一言ずつ話していただきました。戦争の体験を聞きながら、平和への思いをいっそう強く感じた会になりました。『自分と向き合う、真実と向き合う大切さを感じた』『憲法9条は戦争の悲惨さや、いかがわしさを経験した人々からの贈り物だと思ひ、しっかりと守りたい』などの感想が寄せられています。
生駒市平和委員会では、この集いを大切に続けて行きたいと思ひます。

8・15宣伝行動で訴える河内県事務局長 森本県事務局長次長（センター事務局長）



奈良市平和委員会主催「憲法九条守れ」9月6日・13日午後5時、9日12時近鉄奈良駅前
第37回奈良市母親大会9月16日（土）12時45分から4時。奈良県教育会館。講師：中田進氏。「格差社会と貧困の広がり」。参加費：500円。イラクの子どもたちはいま「10月8日午後0時はばたきホール。講師：西谷文和。実行委員会主催。憲法九条守れ奈良県共同センター」の活動に参加を
○定例宣伝行動 9月7日（木）再開、午後5時、近鉄奈良駅前。最終木曜日は、12時半消費税各界連絡会と。教基法県連絡会毎週木曜日午後5時半同場所、共同宣伝行動。
○憲法九条守れ第7回学習交流集会『9月21日（木）午後6時半、県文化会館A B室。講師：岩佐英夫弁護士。』キツパリ憲法 改憲ブームに流されないために』の執筆責任者。



生駒市平和委員会 『夏の集い』



生駒市平和委員会 『夏の集い』

世界中の人が体内被曝を現在進行中 谷 さゆり

奈良県勤労者山岳連盟主催「平和のつどい」が8月26日午後、奈良県文化会館で開かれ、「登美ヶ丘9条の会」の秋山勝彦氏に広島での被爆体験をお聞きしました。著作の「僕の戦争（原爆はそら豆の焦げる匂い）」に沿ってのお話でした。

秋山さんは5才8ヶ月の時に被爆され発病もせず大人になられました。中学生の時に級友から「原爆の生き残り」とのしられたことから被爆のことは封印してきたそうです。語り部の会に入って活動する中で、先輩に諭されて人に伝えるべき体験として被爆体験を話し始められたそうです。1時間半たつぷりユーモアを交えて話され、最後に体内被曝について、きれいな分かりやすいイラストを示しながら詳しく話されました。

放射物質は体外からは簡単には被爆しませんが、少しでも体内に入ると排泄されずに体液の中で半減期になるまで活発に放射物質を発し続けるそうです。米国は1968年に日本人の被爆の実態をまとめ、国連などに報告する中で原子爆弾による被害は数週間で消滅すると結論づけました。世界はそれに惑わされ、体内被曝の実態は無視され続けてきたそうです。最近研究する人も出てきて体内被曝のことが徐々に明らかになり、これから解明されていくとのことでした。みんなとても熱心で、5人から質問があり過半数の人が感想文を寄せてくれました。